

新潟県

公民館月報 10

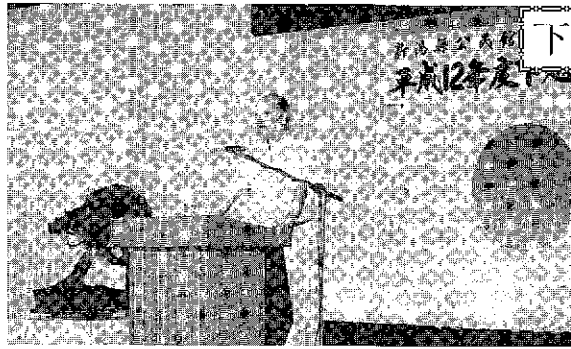
平成12年10月号 通巻第572号



表紙 「謙信公祭」
一献納米合戦一
(上越市立公民館)

特集 市町村の社会体育活動

視 点 「父親学級」を受講して
ひろば 「ホームステイを受け入れて」
サークル交流 えほんのへや (栃尾市公民館)
中里村読み聞かせの会 (中里村公民館)
素顔拝見 高橋則幸さん (三条市)
佐藤育男さん (栄町)



ご講演中の近辻宏帰様

下越地区公民館関係役員研修会開催

◆研修テーマ

『新しい時代の公民館の役割』

一九十余名の参加を得て

標記研修会は、佐渡地区公民館連絡協議会主管の下、9月21日(休)22日(休)の二日間におわたって佐渡郡佐和田町八幡館に約九十名の参加を得て盛會裡に終了した。

初日は、開会式の後五つの分科会に別れて夕刻まで熱心な討議が

展開された。

第一分科会は「地域づくりと公民館」をテーマに「さわやか大学の活動について」の実践事例が、潟東村公民館から提起され、地域課題や生活課題をとらえ、地域の活性化を図るための公民館活動という視点から討議が進められた。第二分科会では「学社融合と公民館」をテーマに、「通学合宿で生きる力を育てよう」の実践事例が、関川村

公民館から提起され、学校と公民館が連携・協力し、教育機能の融合を図るための公民館のあり方という視点から進められた。第三分科会は「情報伝達システム化と公民館」をテーマに、「インターネットと公民館」について亀田町公民館から提起され、現下の急務の課題である情報通信機器分野が進展している中で、公民館がどう対応していくかについて討議を深めた。第四分科会は「公民館運営審議会委員の役割」をテーマに、「公連審活性化への新潟市の取組

み」の事例が、新潟市公連審担当事務局から提起され、行革の中での公連審の必要性やあり方、公民館運営への反映の方法等踏まえて、新しい試みであるワークショップ形式で真剣な討議が展開された。第五分科会は、新任職員を対象に「初任者等研修」が、加藤幹大講師を中心に資質向上のための具体的な方策について、講師の貴重な体験を交えて進められた。

第二日目は、それぞれの分科会の報告が速報を中心にしてなされた後、下越教育事務所社会教育課長小林剛先生より、研修の総括と今後の方向づけについて、ご指導いただいた。

最後は記念講話で「トキの人工増殖と野生復帰について」と題して、佐渡トキ保護センター長近辻宏帰様より、貴重な体験に基づいたお話や、エピソード等の紹介がなされた。

こうして、充実した二日間にあたる佐渡での研修が多くの感銘を残して無事終了した。



基調講演中の雲尾周先生

中越地区公民館職員研修会開催

◆研修テーマ

「公民館事業における

受益者負担の方向について」

パートII

地方分権が具体的に

進ちよくなる中、現下の課題である「公民館事業における受益者負担の方向について」を昨年度に引き続いて採り上げ、去る9月28日(休)、小千谷市・北魚公民館部会・中公連主催の研修会が、八十余名の参加を得て小千谷市公民館で開催された。

研修会の冒頭「受益者負担の現状と課題」→新潟市公民館事例について、新潟大学教育人間科学部助教(新潟市公連審代表委員会議第2部会長)雲尾周先生から、具体的な基調講演がなされた。

ついで「六日町における公民館講座の運営」について、六日町公民館係長高橋幹英様より分館事業も含めて事例発表がなされた。

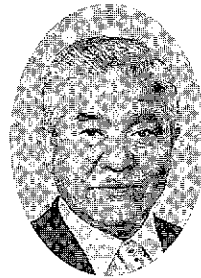
午後の分散会では、「公民館事業における受益者負担の方向についてII」あらかじめ参加者各自が準備しておいた資料に基づいて、情報交換と意見交換がなされた。

最後に、パネル方式で各分散会の司会者より報告がなされた後、当連合会鈴木友夫事務局長より、まとめと総括がなされた。

この研修は、昨年度から館長・公連審委員の研修から独立させた正に実務者主体の研修であり大変充実した内容で、中公連主催の意気が強く感じられた。

新潟県公民館振興市町村長連盟

会長 小林一三氏かずみ (新津市長)
平成12年9月23日付で退任される



『退任の ごあいさつ』

新潟県公民館振興市町村長連盟
会長 小林一三

仲秋の候 皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、私こと9月23日付をもって新潟県公民館振興市町村長連盟会長を退任することとなりました。
在任中は、格別のご理解・ご協力いただき心から厚くお礼申し上げます
今後は、今とは異なる立場で、再び皆様と協力しながら、公民館活動の振興にまい進することがあります。
皆様のご健勝を祈念しつつ、略儀ながら書中をもってお礼と退任のごあいさつといたします。
なお、会長職は、小川竹二副会長(豊栄市長)から、平成13年度総会まで職務を代行していただくこととしております。

視 点

三姉妹の二女が小学校で配られた「父親学級」の案内書を一あなも参加してみたら

中央公民館主催で七月から十一月の夜七時から九時まで、小学生の子どもを持つ父親が対象の講座です。今年のテーマは「素敵なお父さん頑張れ」と、魅力的なタイトルです。
先日の講座で「父親は救急車だ！」という話がありました。非常の時に出勤する緊急自動車だ、と言っている。まさに今起きている少年犯罪は、子ども達に「父親の出勤」を待つ

「父親学級」を受講して

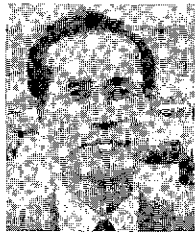
田村 敏 雄

と、妻から渡されたのは七年前でした。以来なかなか卒業できず通算五回目の受講です。

父親学級は、新潟市

受講者数は、年度によって波があり、社会の動きと連動しているような気がします。というの「社会が父親の順番を待っている」と言うことです。

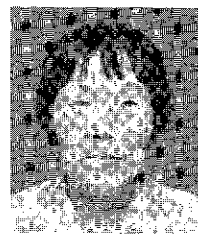
感動の講座に感謝！
(新潟市中央公民館・父親学級OB会「F94」会員)



父の心は、聞いてくるようです。父親が子どもの視線で話し合えるようになるために、この講座があるように思います。そのための、公民館担

「ホームステイを受け入れて」

松之山町社会教育委員 丸山 澄江



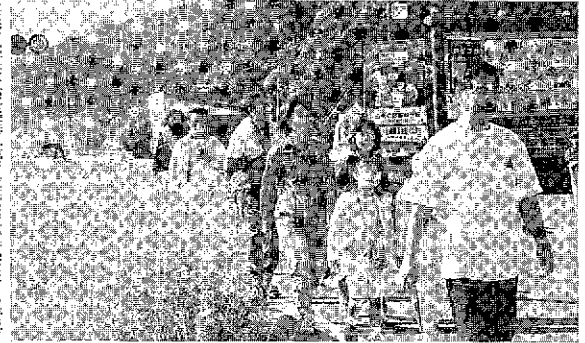
二人の子供が巣立ってから十年余り、家族三人お互いに好きなことをして気楽に過ごして来ました。そんな老人家族の中に、中学生のホームステイの受け入れを頼まれ、可愛い子供達と接することの珍しさ楽しみに、喜んで引き受けさせて頂きました。昨年からは頸城六町村で「ゆきだるま財団」を窓口、関東方面の子供達が色々な田舎体験をしなが、その一日を農家で過ごすという活動内容で、今年も春から数校が松之山町を訪れました。受け入れは男女の希望を聞かれましたので、私は女の子を育てたことがありませんから、この際は女子をお願いしました。

ひ る ば

五月には四人と六人、七月に四人の中学生に来て頂きました。午前中は、何でも良いから各家庭で体験をさせてほしいとのことでした。五月は丁度山菜の季節でしたのでわらび取りに出かけました。それぞれがナイロン袋を片手に、わいわいにごやかです。「あれはほうど。これはぜんまいだよ」山道には山菜がいっぱいあります。五分も歩けばわらびが一面に出ている所があります。子供達は歓声をあげながら「これ取ってもいい？これはどう？」と丁度良いものを選んで競争です。見ている私の方も楽しくなります。
次はお仕事をしてもらおうかな？と、今度は畑一面に落ちていた杉の葉拾いをしてもらいました。「おぼさん、この仕事私達がしなかつたら一人ですもの？」こんな仕事は初めてでしようが一生涯懸命集めてくれました。見るみるきれいなりました。自分達の働いた仕事の成果に大満足です。大した料理も出来ませんでした。大勢食がとて楽しかったとお手紙頂き、お世話させてもらって良かったと思えました。共働きの御両親が多く、きっと子供達は家族だんらんの食卓を望んでいるのだらうと思えました。

会体育活動

東頸・安塚町公民館



地域ウォーキング

1. はじめに
町民総参加による生涯スポーツ・健康体力つくりを実現して、幸せ感のあるまちづくりを進めるため、「自分の健康は、自分で守る」ことを基本理念に置いて人生をいかに過ごすか、「人生80年」にふさわしい新たなライフスタイルを築きながら健康つくりを進めていきます。「雪のまち健康・体力つくり事業」は3年目を迎えました。いつでも・どこでも・誰もがで

きる運動である「ウォーキングとストレッチ体操の普及」をメインテーマに事業展開しています。
2. これまでの取組
事業は、年間2、3回のウォーキング大会を開催しています。更に初年度は、啓発活動を中心に進めました。「町内ウォーキングマップ」の配布。各集落内での道を歩くと何キロになるか記載しました。反射リストバンド・ストレッチ体操リーフレットの配布も行いました。2年目からは、地域単位での取組をめざし、旧小学校単位での展開に重点を置き、事業を進めました。
3. 本年度事業の概要
① スポーツ推進リーダーの養成講習会
町民の健康・体力づくりをス

ポーツによっていかに進めてゆ

安塚町「雪のまち健康・体力つくり事業」

安塚町公民館主任 丸田 健一郎

ながら推進して
います。体育指
導委員協議会を
始め、商工会・

くか、をテーマにリーダー養成講習会を行います。地域館長・体育指導委員・各地域の健康推進員・食生活改善推進員・スポーツ推進員を集めて、スポーツの持つ素晴らしさ、スポーツが健康体力つくり役に役立つこと等を他町村の実践例などを交えて講習会を開き、各地域での取組に役立てていただいています。
② 町民スポーツフェスティバル
スポーツの一大イベントである、「町民スポーツフェスティバル」を6月第2土曜日に開催しています。種目はソフトバレーボール・テニス・バレーボール・小学生種目のチーム競技と10k・5k・3kのウォーキングを実施しています。個人種目のウォーキングを実施するようになつてから参加者が増えています。

し、ご理解いただいて事業展開がなされているウォーキングは、月に1、2回行われています。その総仕上げとして、「体育の日」を中心とした10月の休みの日に、各地域館がそれぞれに主催し、工夫を凝らしたコース設定と内容により、ウォーキング大会が行われています。本年度はこれから実施となりますが、昨年度の参加総数は20人でした。
④ 庁内の連携
この雪のまち健康・体力つくり事業を推進するには、役場庁内の連携が不可欠で、随時連絡を取りながら事業の企画運営を行って行きます。特に健康つくりの面では、保健婦・栄養士との連絡を取りながら体力つくりを進めています。

小学校・中学校・民間企業などと連絡を取りあっています。本年度は、商工会主催によるウォーキング&マラソン大会が計画されており、計画から実施まで協力して行っています。
4. 今後の課題
町内のあちらこちらで、ウォーキングをしている人を見かけるようになった。ウォーキングイベントへの参加者も確実に増えてきた。更に、町民全体が大きくなつて、健康体力つくりを行えるよう、環境整備と意識啓発を行い、健康・体力つくりを進めたい。

③ 地域ウォーキング
旧小学校単位を中心に9つの地域館が組織されており、その単位で「健康・体力つくり」の実践活動を実施してもらうため、地域担当の体育指導員を決め、地域館の長と合同会議を開き、地域における会議へ出席し、一緒に事業展開することを説明

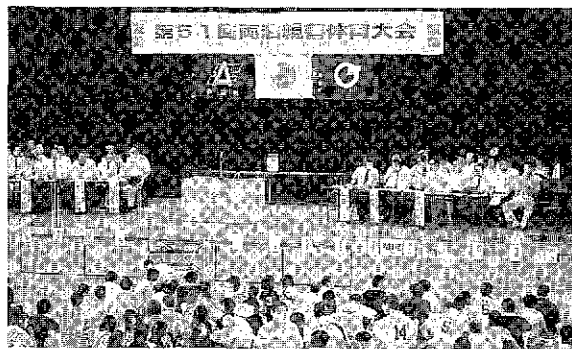
⑤ 町内各団体との連携
事業推進にあたっては、町内の学校・各団体や民間企業と連携し

雪のまち体力つくり事業 (平成11年年度)

地域ウォーキングの紹介

各地域館の計画は次のとおりです。地域館単位で募集を行いますので、その要項に沿ってご参加ください。

地域館名	開催日時	集合場所	内 容
安塚地域館	10月10日 9時から	安塚公会堂	三區街道ウォーク、三區街道の学習・ゲーム 豚汁サービス有り
ドリーム地域館	10月10日 9時30分から	安塚中学校	リバーサイドロード ～曳川大杉駅往復
直隼地域館	10月9日 9時から	松崎センター	城川方面に向かう 遊歩道5km
中川地域館	10月10日 9時から	JA中川支所	高山大杉ウォーク
小黒地域館	10月10日 8時30分から	海洋センター	和田～長倉山～田舎 屋～和田 参加費500円
須川地域館	10月10日 8時30分～ 11時	須川地域生涯学習センター	グリーンパートナー 東山～大こぶし (10km)



特集

市町村の社

三島・寺泊町公民館

幾多の困難を乗り越えて

両泊親善体育大会

寺泊町公民館主任 菅 沼 弘 一

ながらも、友好と親善を十分に深めることのできた内容だったと思います。

青い海を隔てて目の前に向かい合う両町村が、遠く平安の昔から深い交流の歴史をもち、

日本海というかけがえのない財産とすばらしい自然を共有する者同士として、毎年スポーツの交歓会を開催し、友好親善を深め合うことにより両町村の活性化と限らない発展に努めてきました。そんな大会について、過去を振り返りながら紹介したいと思います。

昭和55年に編集された「両泊親善体育大会三十一回大会記念誌」を見てみるとそれらの困難、苦勞を両町村の青年団が中心となり、熱い情熱と行動力を持つて乗り切

て実行してきた経緯がさまざまなささげとかがえま

回まで継続された後、昭和15年から終戦を経て昭和26年までの長い間中断があり、第5回大会が再開されました。

昭和11年に寺泊を会場に開催された第1回大会では、陸上競技のみの大会で青年団の交流を中心として、第4

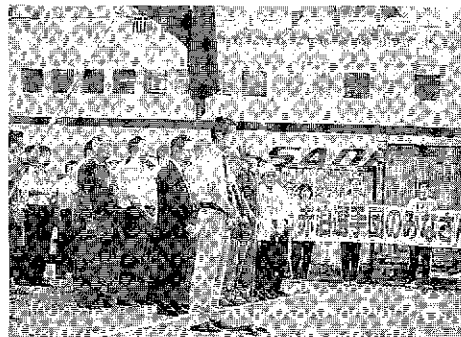
女子の部や壮年の部も種目に加わり、郷土芸能等の交歓の前夜祭や物産展、経済懇談会等のソフト面も多岐にわたるイベントへと発展しつつあった矢先、迂回航路不能により再度の中断を余儀なくされましたが、県議先生をはじめ各界のご尽力で、48年航路の再開により24回大会から復活しました。その後、徐々に体育施設の整備も進み、行政も肩入れをすることで運営費が予算化され、今では陸上競技の外に、各種球技を含め11種目と大規模なイベントへと成長しました。

二日間の大会を振り返り、体育指導委員の存在と体育協会の力の大きさを改めて認識し、年間を通して比較的忙しい時期にも関わらず、毎年安い料金で宿舎として快く協力してくださる民宿組合に感謝しています。

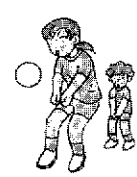
〈大会日程〉

〔1日目〕	赤泊村選手団入港	午前9時～
	歓迎式	午前9時10分～
	開会式	午後12時30分
	競技開始(球技種目)	午後1時15分
〔2日目〕	両泊交友の夕べ	午後6時～
	競技開始(陸上)	午前10時～
	閉会式	午後2時30分
	赤泊村選手団出港	午後4時20分

「友好と親善」を両町村の合言葉として、半世紀に及ぶ赤泊、寺泊両町村の絆となってきた今大会は、去る七月一日、二日の両日にわたり当町を会場に開催されました。



カーフェリー「えっさ丸」が午前9時に寺泊港に着岸し、赤泊村長をはじめとする14名の選手



実践記録シリズ(47)

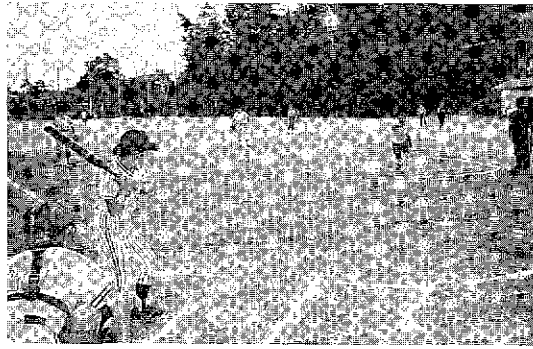
「サマーナイトソフトボール大会」

新潟市西地区公民館

主任 山中 順二

一、はじめに

当公民館は、新潟市の西部、内野地区にあり、新潟大学や新潟国際情報大学の教育環境にブラスして、ラムサール条約登録の佐潟周辺の自然環境に恵まれた地域でもあります。また、スポーツの盛んな所でもあり、各地区の運動会、ロードレース、ウォークラリー、駅伝等で30年

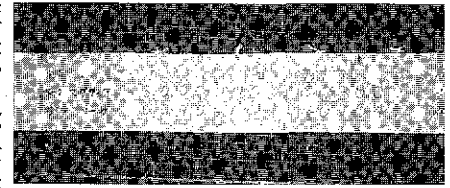


フットボール大会を実施したこと

二、事業内容について

この事業は昭和61年に青年集會という事業の中で、24時間ソフトボール大会を実施したこと

がきっかけとなり、翌年も地域住民の親睦と連帯を図る目的で行われたのが始まりでした。しかし、24時間スタッフの確保は難しく、体力、健康を考えると現在の12時間制にし、続けられてきました。高校生以上を対象に募集し、オープニング試合、個人戦、チーム戦の順に、午後6時から翌朝の6時までの事業です。スタッフには、地元ソフトボール愛好会、西地区体育指導委員、新潟大学のインターンシップの実習生、企画委員の大学生など約20人が参加し、運



営に当たってくれました。特に夜間の事業のため、グラウンド周辺の皆様への協力依頼文書を配布することに心掛けました。

当日は晴

天に恵まれ、館長の始球式に続き、オープニング戦は女性チームコスモス対モンスタースター戦で7回まで行われました。実力伯仲の好ゲームに、参加者の目がくぎづけになりました。7時から

11時までは、前試合を引き継いで個人戦が行われ、当日集合した人が2チームに分れて、随時交替を繰り返しながら、32回まで続きました。お互いに全然知らない者同士なのに、チームワークの見事なのに感心し、出会いの大切さ、公民館の役割を再確認しました。盗塁にダブルプレー有りの好プレーの続出に、時間を感じさせないひとときでした。11時からはチーム戦が開始、この時点で22対28と熱戦が引き継がれていきました。チーム戦には5チームの参加があり、5試合33回から65回まで

続けられました。会場の内野小学校のグラウンドは、桜の名所として新潟県環境百選に選ばれた所で、四基の照明の下、力強い声援を受けながら、はつらつとしたプレーが続けられました。ここでも、地域と学校による環境保全活動の大切さを参加者一同、学ばせていただきました。内野駅からの終電車、午前3時には早くもにわたりの鳴き声、ベンチからは「午前3時の人間の動きではない」との声援もあり、このエネルギーを街づくりに生かせたらとも思っただいです。4時半頃、空が白みはじめ、5時20分ナイター消灯、5時34分始発電車の発車ベル、6時試合終了の審判のコール、

参加者の充実感あふれる笑顔で91対86の熱戦に幕を閉じました。屋外での事業の場合、終わった後が肝心で、スタッフと参加者一同で後片付け、グラウンド整備、ゴミ清掃と「来た時よりも美しく」をモットーに会場をあとにしました。公民館へ戻り、机、椅子を水洗いし倉庫へ仕舞い、ケガ人も出なかったことにホッとしました。

三、おわりに

事業を企画する際に、協力してくれるスタッフの確保が大変ですが、口頭から地域の方々のコミュニケーションが大事であることを、いつも感じているところでです。

西地区サマーナイトソフトボール大会開催要項

主催 新潟市西地区公民館
大会主管 西地区ソフトボール愛好会
西地区体育指導委員会

目的日	スポーツを通して、地域住民の親睦と連帯を図る。 平成12年8月19日(日)午後6時から 20日(日)午前6時まで
会場	内野小学校グラウンド
対象	高校生以上の男女
開式	午後5時30分～(5時までに集合)
大会内容	・19日(日)午後6時～午後7時オープニング試合 午後7時～午後11時個人参加試合(オープニング試合を引き続いて行う。) ・19日(日)午後11時～20日(日)午前6時チーム戦試合 ・一人200円(保険料など) ・グループ・バットなど(試合球は3号ボールで公民館で用意します。) ・個人参加は、当日受け付けし、先着順にチームを編成し、試合を行う。 ・チーム参加の場合は、19日(日)午後10時30分までに会場に集合し、受け付けを済ませてください。 ・チーム戦の試合時間は概ね1時間とし、コート1面を使用する。 ・監督及び塁審は、各チームが選出する。 ・判定は、審判に従う。 ・西地区ソフトボール愛好会 個人参加 電話または当日会場で チーム参加 電話で事前に 新潟市西地区公民館 ☎261-0031まで
参加費	
持ち物	
ルール	
審判員	
申込	

サークル交流

絵本の世界にふれて 「ひと夏のおはなし会」

えほんのへや

栃尾市美術館では、創立5周年記念として、「東欧絵本原画展」を7月20日～9月3日まで開催されました。月に二回の土曜、ボランティアで子ども達に読み聞かせをしている「えほんのへや」に働きかけ、公民館の読み聞かせ講座と共に原画展と合わせておはなし会を計画し、昨年の一月から、メンバー十人で活動を始めました。発声、絵本についての知識、読む時の環



境、手話やエプロンシアター、語り、紙芝居、指人形、パネルシアター等様々な学習をして原画展のおはなし会に臨みました。参加者があるだろうかの心配をよそに毎回沢山の人数に聞いていただき大感激でした。これをきっかけに、メンバーも盛り上がり、これからの起動力となっていくと思えます。大人子どもに拘らずもつと絵本に親しみ絵本の世界を楽しめたらと思いを巡らせています。まだ歩き始めたばかりのサークルです。県内各地の先輩サークルの皆さんと交流できたらと願っています。

(栃尾市公民館 高橋 久美子 記)

お話の楽しさ伝えたい

中里村 読み聞かせの会

「おはなしひろば」は、平成9年5月に発足しました。近隣の市や町では、10年以上も前から読み聞かせの会があったと言いますが、私達の会はまだまだ始まったばかりです。現在男性3人を含め13人(お姉さん、おばさん、おじさん、おじいちゃん)と年齢層広いノで活動しています。



保育園児から小学校低学年を対象に各地区の公民館やUメールで、年5回、4月から12月の偶数月に、絵本の読み聞かせ、昔語り、パネルシアター、人形劇、ベープサート等を行っています。

ただ、昔話や絵本が好き、子供達と触れ合うのが好き、そんな思いが集まった仲間達です。じつと静かにお話の中に引き込まれる子、おもしろがって笑い声をあげる子、もつと聞きたいこの本大好き。そんな子供達の声や姿が、私達の活動のエネルギーになっていきます。これからは、お話の楽しさを少しでも伝えて行ければ、と思っています。

(「おはなしひろば」 池田 周子 記)

三条市中央公民館

副参事 高橋則幸 さん

平成十二年四月。我が中央公民館に頼もしい助っ人がやってきました。「のりチャン」こと高橋則幸さんです。彼は、企画や財務の大ベテランであり、また、選挙では、いつも職員を中心となつて膨大な事務処理をこなしてくれました。そんな彼がなぜ公民館に来たかという、ある重要な任務を任せられたから。さて、それは何でしょう。



「三條市中央公民館 館長補佐 西澤 正幸 記」

素顔 拝見

栄町教育委員会

主事 佐藤育男 さん

彼が公民館にきてはや二年、栄町の社会体育といえは「佐藤育男」というのがすっかり住民に定着している。その愛くるしい顔から普段は「いくちゃん」の愛称で親しまれ、老若男女問わず、かわいがられているのはいうまでもない。特に女性(年上)の人気度は、過去の社会体育担当の中でも一・二を争う程ではないだろうか。



「つり」常人には理解しづらいが、週末になると毎週のように県外の有名湖沼へ足を運び、魚との熱い戦いを繰り広げている。「プロ」の称号を持ち、つり歴十年というキャリアは伊達ではない。

そんな彼の唯一の弱点が整理整頓。机の上はジャンル化して非常に危険な状態である。日々山のような書類とも戦う「いくちゃん」なのであった。(同教育委員会 和美 記)

新潟県公民館連合会創立50周年記念 上越公民館連絡協議会研修会開催案内

趣旨 生涯学習推進の中核的な役割を担う公民館の運営のあり方について研修を深め、市町村における生涯学習推進及び社会教育の一層の振興充実を図るとともに、公民館運営審議会委員及び公民館職員の資質向上を図る。

主催 上越公民館連絡協議会
共催 新潟県公民館連合会
日時 平成12年10月18日(例年)前10時から
会場 糸魚川市ビーチホールまがたま
(糸魚川市寺町4-3-1 ☎0255-53-1670)
参加者 上越地域市町村公民館
運営審議会委員等・公民館長等管理者・中堅職員・初任者

日程		10:00	10:30	10:45	11:45	12:00	13:00	13:50	14:00	15:30	15:45
受付	開会式	事例発表	質疑	昼食	アトラクション	休憩	記念講演	閉会式	解散		
1	司会進行	上公連副会長	倉石義行(新井市)								
2	開会のあいさつ	上公連会長	二ノ倉武(上越市)								
3	歓迎のあいさつ	糸魚川市様									
4	来賓のあいさつ	新潟県公民館連合会長 新潟県上越市教育事務所長	今井昭友様 丸田 勲様								
5	事例発表	司会進行	上公連副会長	春日サヨ子(安塚町)							
	テーマ	「公民館活動と活力ある地域づくり」									
	東頸城代表	「音楽によるコミュニティーづくり」 大島村公民館 職員 飯田文夫様									
	中頸城代表	「花いっぱいクラブ活動」 板倉町 元公民館長 武藤真一様									
	新井市代表	「手作り甲冑教室を通じて地域の歴史を活かしたまちづくり」 新井市地域育てリーダー 小川幸夫様									
6	アトラクション	紹介	上公連副会長	北村秀成(糸魚川市)							
		糸魚川市公民館	自主グループ								
7	記念講演	講師紹介	上公連副会長	宮下智道(妙高高原町)							
		講師	上越教育大学助教授	古賀 博様							
		演題	「21世紀初頭に求められる地域社会の教育力」								
8	閉会のあいさつ	上公連副会長	北村秀成(糸魚川市)								



恵贈資料紹介

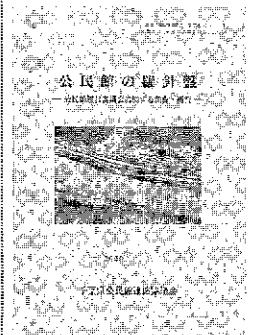
公民館の羅針盤

公民館運営審議会に関する調査・研究

千葉県公民館連絡協議会

関プロ水戸大会の折寄贈された資料であるが、内容は、第一章公民館運営審議会に関するアンケート調査とその考察、第二章これからの公民館運営審議会の展望、1わたしの「まち」の公運審についての事例紹介、2公民館運営審議会活性化への提言、そして資料編で構成されている。

「地方分権」「規制緩和」「行政・財政改革」の激しい流れの中で、公民館研究委員会をいち早く組織し、課題ごとに三つの常設小委員会を編成し、公民館をめぐる緊急課題について多角的・多面的な視点から研究・討議を重ねられた千葉県公運審に対し、最大の敬意を表したい。社会教育法改正以後、即公運審委員の兼務・任意設置化が進む中で、千葉県公運の「公民館の羅針盤」は、貴重かつ重要な資料として活用していきたい。



早く組織し、課題ごとに三つの常設小委員会を編成し、公民館をめぐる緊急課題について多角的・多面的な視点から研究・討議を重ねられた千葉県公運審に対し、最大の敬意を表したい。社会教育法改正以後、即公運審委員の兼務・任意設置化が進む中で、千葉県公運の「公民館の羅針盤」は、貴重かつ重要な資料として活用していきたい。

《新潟県公民館五十周年記念誌》

ようやく完成の目途がつかしました

体裁は A4判 300余頁 上製本
価格は 3,000円

- ◆主な内容
 - ・新潟県公民館連合会の略年譜(創立以来～平成12年)
 - ・その後の10年(平成3年～平成12年)
 - ・新潟県公民館大会の歩み(第1回～第51回)
 - ・感謝状・表彰状贈呈職員・公民館一覧(創立以来～平成12年)
 - ・創立五十周年記念式典・記念講演
 - ・市町村公民館の現状
 - ・新潟県公民館連合会役員・職員名簿(平成3年～平成12年)
 - ・新潟県公民館振興市町村長連盟の歩み(創立以来～平成12年)

- 中央公民館、地区公民館には記念誌としてぜひ一冊
- 公運審の皆さんには、公民館の歴史と現状を知る参考資料としてぜひ一冊
- 職員の方には、公民館事業の活性化にぜひ一冊

☆ふるって購入予約申込を10月30日(月)までお願いします。
☆2月末日頃に発送できる予定です。
※送料は1冊250円です。
☆購入予約申込先

〒951-8053 新潟市川端町2丁目9番地 新潟県公民館連合会
電話・FAX 025-224-6073

◆9・10月は、正に研修のシーズン、中・下越地区公運研修会に、取材を兼ねて参加させていただきます。それぞれ地区公運の特色を生かしての内容の濃い

表紙解説 謙信公祭

郷土が誇る武将、上杉謙信公をしのんで毎年8月16日・17日に行われる「謙信公祭」の中でも2キロメートル近い坂道を、20キロの俵御輿を担いで速さを競う献納米合戦は圧巻。
(上越市立公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025)224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局 鈴木友夫
【定価1部150円 年共1,800円】

い研修でした。
◆県公運創立50周年記念誌の作成について、各市町村の担当の方々からご協力いただきありがとうございます。
(鈴木 記)